東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月29日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の 不具合が対象になります。

2020年9月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【3号機 高台炉注水ポンプ炉心スプレイ系注水配管蓋付きU字溝状の収納箱の据付不良について】 当直員のパトロールにて3号機 タービン建屋1階の高台炉注水ポンプ炉心スプレイ系注水配管を収納しているU字溝 状の収納箱の一部に、隙間があることを確認。 原子炉への注水は、通常、復水貯蔵タンク炉注水ポンプを使用しているため、当該ポンプ、配管の使用は無い。よって 収納箱内の配管からの漏えいはなく、収納箱から外部への漏水もなし。 収納箱に外部応力(通行者の乗り上がり、資機材搬入時の接触等)が働き隙間が生じたものと推定。 今後、隙間部のコーキング処理を実施予定。	GⅢ	9月21日
2	【1号機 復水貯蔵タンク炉注水設備の津波浸入防止カバー固定ボルトの固着について】 当直員のパトロール時に、1号機 タービン建屋東側に設置してある、復水貯蔵タンク炉注水設備の津波浸入防止カバーを点検のため開放しようとしたところ、開放出来なかった。津波浸入防止カバーを固定しているボルト16本中5本が発錆により固着しており、固着しているボルトに浸透潤滑剤を塗布したが、状態に変化なし。 津波浸入防止カバーは屋外に設置されているため、雨、塩害により錆が発生し固着したものと推定。 津波浸入防止カバー内には漏えい検知器が設置されており、検知器動作時に確認ができなくなるため、今後、当該ボルトを交換予定。	GШ	9月21日
3	【6号機 残留熱除去海水系(A)ストレーナ(A-B)の空気抜き弁および出口水抜き弁からのシート漏えいについて】 当直員が6号機 残留熱除去海水系(A)ストレーナ(A-B)の空気抜き弁および出口水抜き弁から海水の滴下を確認。弁は全閉状態でありシート漏えいと判断。 今後、ストレーナ(A-B)空気抜き弁および出口水抜き弁に閉止プラグを設置予定。	GⅢ	9月23日
4	【図書の不適切な廃棄について】 免震重要棟バス乗り場脇にある可燃物用ゴミ箱に、裁断処理を行わず判読可能な状態で工事用図書が廃棄されていることを保安検査官が確認。 調査したところ、当社監理員が現場調査のために工事用図書のコピーを管理区域内に持ち込み、持ち帰る必要が無かったため裁断処理を行わずゴミ箱に廃棄したものと判明。 可燃物用ゴミ箱内の廃棄物(工事用図書のコピー)は回収済み。 今後、再発防止対策を検討。	GⅢ	9月21日
5	【5号機 ディーゼル駆動消火ポンプ出入り口差圧スイッチ入口ヘッダの元弁付け根部のピンホールについて】 5号機 ディーゼル駆動消火ポンプ出入り口差圧スイッチ入口ヘッダの元弁付け根部のピンホール(極小径の穴)があり、水が滴下していることを確認。 ピンホール箇所から微少な水の滴下はあるものの、消火系統運用には問題なし。滴下した水は、排水口に排水中。 今後、滴下箇所を修理予定。	GⅢ	9月26日